

## 日本製中古小型建設機械が、カンボジアで活躍！

～香春町の株式会社ウエスト・マネージメント、JICA と委託契約を締結～

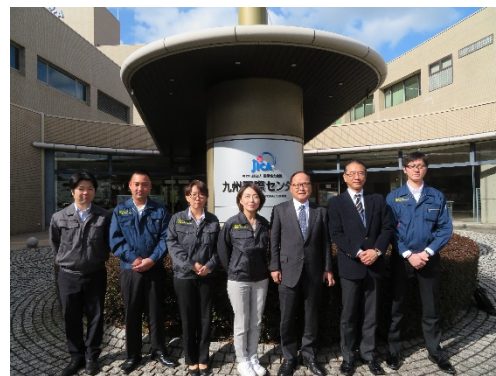
国際協力機構(JICA)は、2月8日、「中小企業・SDGsビジネス支援事業 基礎調査(中小企業支援型)において株式会社ウエスト・マネージメント(福岡県田川郡香春町、堤田継雄代表取締役)が提案する「建設インフラを支える日本製中古小型建設機械の流通及び活用に関する基礎調査」(カンボジア)にかかる業務委託契約を締結しました。

順調に経済成長するカンボジアでは、インフラ工事やビル建設などが市内のいたるところで行われています。その中でも特に道路は、国内輸送の中心的な役割を果たし、インドシナ半島の物流の中継基地となるべく重要なインフラであります。内戦後の応急修復個所の劣化や、増員不足により大型トラックが通り難いなど、既存道路の改修が課題となっています。一方、道路改修工事に不可欠な小型建設機械の流通が少なく、十分に活用されず、適切なプロセスを経た建設工事が出来ていない状況です。

全国の同業者に先駆けて、レンタル会社と連携したリユースバリューチェーンを構築した実績及び、あらゆるメーカーの建設機械を点検・修理することが出来る高い整備技術を有する同社は、“良質”な日本製中古小型建設機械の“安価”かつ“安定”して供給するメンテナンス体制を含めたバリューチェーンの構築を目指し、同国の建設工事の施工品質と作業効率の向上、経費の削減への貢献が期待されます。



海外展開に向けたメッセージ  
(アンコールワットを背景に)



ウエスト・マネージメント 海外展開チーム

同社は、海外展開チームを組み、カンボジアの建設工事現場の現状と課題、道路維持管理局等の行政機関の取組状況、日系企業・機関を通じた市場分析及び、仲介業者などの適格性について調査します。

本事業は、「基礎調査(中小企業支援型)」として実施されます。「基礎調査」は、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。

参考:(プレスリリース)基礎調査 2018 年度第 1 回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/press/2018/20180816\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2018/20180816_01.html)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州国際センター 市民参加協力課 担当：野路  
 TEL：093-671-8204 e-mail：Noji.Toshio2@jica.go.jp